

令和3年度において国の地方創生関連交付金を活用して実施した事業の効果検証 ～国の基準による効果検証～

資料5

No.	まちづくりビジョンの基本方向	事業タイプ	交付対象事業の名称	取組内容	交付金の種類(補助率)	実績額(事業費) 単位:円 ※連携事業の場合は本市分の事業費	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実績値	今後の方針	
							指標	指標値	単位	目標年月			
1	4-5 皆生温泉のまちづくり	横展開	海・砂浜・温泉街を活用した「白砂青松の海遊リゾート」創生による皆生温泉まちづくり推進プロジェクト	<p>1皆生温泉振興組織の構築 皆生温泉まちづくりビジョンの執行部隊として、皆生温泉エリア経営実行委員会を設立し、民間主体の「まちづくり」のプラットフォームを構築した</p> <p>2ビーチの新たな利活用の促進 ・砂浜用車いすと専用マットの購入を支援しユニバーサルビーチ化を進めた ・ビーチテニス事業者の実証実験を支援し、オフシーズンのビーチ利用を進めた</p> <p>3海と温泉街の一体感の醸成(海岸遊歩道等における付加価値創出) ・3旅館の海沿いの塀の撤去及びベンチ・ウッドデッキ整備を支援し、官民境界を超えた歩行者の滞留空間造成を実現した ・2旅館の街灯の照明リニューアルを支援し、夜景空間の魅力向上を実現した</p> <p>4メインストリートの活性化 ・メインストリート沿いの空き地に飲食屋台・憩いの空間設置し、来訪者の回遊を促す社会実験を実施した ・空き不動産の見える化を実施し、1軒の新規出店を実現した。</p>	①地方創生推進交付金(1/2)	30,360,905	指標①	砂浜を含む皆生温泉Tライン周辺における新規造成店舗・体験コンテンツ等滞留・消費拠点への入込客数	R5年度において 67,200 ※R3目標:62,400	人	R4.3	50,325	引き続き、振興組織「皆生温泉エリア経営実行委員会」を母体以下の方針で事業展開する。 【ハード事業】 旅館のファサード整備、空き不動産の活用促進等のハード整備支援を進める。 【ソフト事業】 未利用地や公園等の活用ガイドラインの作成と活用実証実験を実施し、飲食屋台の出店やイベント開催の機運醸成を図る。
							指標②	SNSのポジティブ投稿数	R5年度において 29,900 ※R3目標:27,300	件	R4.3	35,500	
							指標②	米子市観光入込客数	R5年度において 1,108,000 ※R3目標:1,052,000	人	R4.3	689,000	
							指標②	皆生温泉入湯客数	R5年度において 441,585 ※R3目標:416,585	人	R4.3	238,782	
2	4-7 広域連携による観光振興	横展開	<p>「観光から関係人口・企業移転」までを「標高0mから大山頂上」で切れ目なく受け入れ、来訪者の幸せ実現をめざす大山・日野川圏域</p> <p>弓ヶ浜サイクリングコース魅力向上事業、山陰の「光と影」広域広報PR、米子ヒカリマチ、刀剣たたら関連事業(出雲圏域との連携)、サイクリング聖地化事業、サイクリング真庭・蒜山圏域連携事業、関係人口創出・拡大事業、地域収益向上事業、広域観光・交流共通基盤事業</p>	①地方創生推進交付金(1/2)	7,257,894	指標①	大山・日野川圏域への再来訪意向	R5年度において 70 ※R3目標:55	%	R4.3	72%	引き続き、認定された地域再生計画『「観光から関係人口・企業移転」までを「標高0mから大山頂上」で切れ目なく受け入れ、来訪者の幸せ実現をめざす大山・日野川圏域』に基づき、地方創生推進交付金を活用して取り組むこととしている。	
						指標②	本事業を通じた関係人口支援人数	R5年度において 700 ※R3目標:100	人	R4.3	1,991人		
						指標③	モデル事業者における売上・収益目標の達成比率	R5年度において 70 ※R3目標:50	%	R4.3	27%		

【凡例】

交付金の種類

- ①地方創生推進交付金:「地方版総合戦略」に定められた自主的・主体的で先導的な事業を記載して作成した地域再生計画に基づく事業の実施を支援すること目的とする交付金(補助率1/2)。平成28年度から複数年の支援。
- ②地方創生拠点整備交付金:地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業のうち、未来への投資の実現につながる先導的な施設整備を支援すること目的とする交付金(補助率1/2)。